

伝説と遺跡の残る島

高島



| | |
|--------|--|
| 指定区分 | 国指定名勝 |
| 読みかた | たかしま |
| 所在地 | 笠岡市高島 |
| 指定年月日 | 昭和19年11月7日 |
| 解説 | 神島外浦から約2.5km、周囲約6kmの小島。標高77mの神ト山頂上には巨大な「高島行宮遺趾碑」と書かれた自然石の碑が立つ。さらに展望台からは、瀬戸内海の大パノラマが一望できる。また、縄文時代から平安時代に至る多くの遺跡が残されている。 |
| アクセス方法 | 笠岡港から三洋汽船または豊浦汽船乗船 |
| 公開状況 | 自由 |
| 設備 | |
| 備考 | 神ト山山頂へ至る遊歩道が整備されています。 |

きつずページ



| | |
|-------------------|---|
| していくぶん (指定区分) | 国指定名勝 |
| ぶんかざいめい (文化財名) | 高島 |
| よみかた | たかしま |
| しょざいち (所在地) | 笠岡市高島 |
| していつひ (指定した日) | 昭和19年11月7日 |
| せつめい | 笠岡港(かさおかこう)からおよそ8キロメートルのところにある笠岡諸島(かさおかしょとう)の中の島です。周囲(しゅうい)はおよそ6キロメートルです。神ト山(かみうらやま)には巨大(きょだい)な自然(しぜん)の石でできた石碑(せきひ)があり、また、展望台(てんぼうだい)からは、瀬戸内海(せとないかい)のすばらしい景色(けしき)をながめることができます。 |